

第 137 回触媒討論会特別シンポジウム

触媒学会では、第 115 回触媒討論会より毎年継続して参りました特別シンポジウムを、第 137 回触媒討論会にて開催します。注目度の高いテーマや他分野との境界領域のテーマを選定し、この分野でご活躍されている産学官の第一人者の方々に講演をお願いしています。今回は下記二つのテーマについて特別シンポジウムを開催します。

テーマ 1：均一系触媒による高分子合成・分解の最前線

テーマ 2：カーボンニュートラルな合成燃料製造技術の現在と未来を考える

本企画が、各界の研究者の交流を一層促進し革新的な成果を生み出す"触媒"となるよう、積極的なご参加をお願いします。

主催：触媒学会

協賛学会（予定）：日本化学会、エネルギー・資源学会、化学工学会、高分子学会、有機合成化学協会

日時：2026 年 3 月 24 日（火）14:00-17:20

開催方式：オンサイト開催（オンライン配信はありません）

会場：東京科学大学大岡山キャンパス 第 137 回触媒討論会会場：テーマ 1（A 会場）、テーマ 2（B 会場）

テーマ 1: 均一系触媒による高分子合成・分解の最前線

均一系触媒は反応の精密制御が可能であり、高分子材料の精密合成に重要な役割を果たしてきました。均一系触媒はその明確な分子構造から反応機能の理解を容易にし、的確な改良指針を与えることを特徴としており、今現在も進化を続けています。近年では、高分子材料の再利用を目的とした分解反応にも注目が集まっており、循環型社会構築への貢献も期待されています。本シンポジウムでは、第一線で活躍する研究者を招き、均一系触媒による高分子合成反応と分解反応に関する最新の研究成果と技術動向を紹介します。みなさまの研究開発のさらなる発展につながる場としてご活用下さい。

オーガナイザー：野崎 京子（東京大）

14:00-14:10	開会の挨拶 & 全体総括	野崎 京子（東京大）
14:10-14:40	高性能分子触媒が拓く新材料の創製、定量的なケミカルサイクル	野村 琴広（都立大）
14:40-15:10	難溶性樹脂分解のための炭素-酸素/炭素-窒素結合開裂触媒の開発	高橋 講平（東京大）
15:10-15:40	有機テルル化合物を用いたリビングラジカル重合(TERP)の工業化	廣井 良一（大塚化学）
15:40-15:45	休憩	
15:45-16:15	アルミノキサンの局所構造に着目したオレフィン重合触媒系での素反応制御	田中 亮（広島大）
16:15-16:45	エチレン・酢酸アリル共重合反応における均一系触媒の開発	黒田 潤一（クラサケミカル）
16:45-17:15	パネルディスカッション	オーガナイザー、講師
17:15-17:20	閉会の挨拶	野崎 京子（東京大）

テーマ 2: カーボンニュートラルな合成燃料製造技術の現在と未来を考える

化石資源に依存することなく炭化水素燃料を使用するためには、地表で得られる二酸化炭素と水とカーボンフリーエネルギーから合成燃料を製造する他に方法はない。光合成により生育したバイオマスからバイオ燃料を製造することも同様の技術である。そんな合成燃料を製造することの意義や実現可能性（経済合理性）を議論するには、「水素利用の真実、燃料ユーザーの声、利用可能な化学プロセス、燃料に必要な規格、世界の技術動向」をそれぞれの専門家に語っていただく必要がある。本シンポジウムは、合成燃料に関して今後どんな触媒研究が必要かを考える機会にした

オーガナイザー: 里川 重夫 (成蹊大)

14:00-14:10 開会の挨拶 & 全体総括

里川 重夫 (成蹊大)

14:10-14:40 カーボンニュートラルを達成した日本の将来像

光島 重徳 (横国大)

14:40-15:10 持続可能社会の実現に向けた Honda におけるカーボンニュートラル燃料の取り組み

山本 修身 (本田技術研究所)

15:10-15:40 東洋エンジニアリングにおける合成燃料の取り組み

寺井 聡 (東洋エンジニアリング)

15:40-15:45 休憩

15:45-16:15 燃料品質・燃料適合性から見た触媒開発への期待

岡本 憲一 (カーボンニュートラル燃料技術センター)

16:15-16:45 世界の合成燃料製造技術動向

室井 高城 (アイシーラボ)

16:45-17:15 パネルディスカッション

オーガナイザー, 講師

17:15-17:20 閉会の挨拶

里川 重夫 (成蹊大)

参加登録費:

- 1) 第 137 回触媒討論会参加登録費に含まれます。触媒討論会に参加される方は、下記 URL から参加登録をしてください。

<https://catsj137.infotecs.jp/entry/>

一般参加登録・支払締切日: 2025 年 12 月 23 日 (火) ~ 2026 年 2 月 10 日 (火)

直前一般参加登録・支払締切日: 2026 年 2 月 25 日 (水) ~ 2026 年 3 月 9 日 (月)

- 2) 特別シンポジウム限定参加を希望される場合は、下記 URL からお申し込みください。

<https://catsj137.infotecs.jp/special/>

特別シンポジウム限定参加登録・支払締切日: 2026 年 1 月 23 日 (金) ~ 2026 年 3 月 9 日 (月)

<特別シンポジウム限定参加登録費 (税込み)>

触媒学会: 正会員 3,300 円、シニア会員^(注)・学生会員 2,000 円、団体会員 4,300 円

日本化学会・協賛学会: 個人正会員 3,300 円、学生会員 2,000 円、団体会員 4,300 円

非会員: 一般 5,000 円、学生: 2,500 円

(注) シニア会員: 2026 年 2 月 28 日時点で 65 才以上の触媒学会の個人会員

問合先: 触媒学会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3 階

電話: 03-3291-8224, E-Mail: catsj (@) pb3.so-net.ne.jp (カッコを外してください)